

# 一般質問発言通告書

発言順位 9 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 6月 8日

三島市議会議長 川原 章寛 様

三島市議会議員 18番 土屋 利絵



質問事項1	最後の日まで安心して住み慣れた場所で生活していくための体制づくり
具体的内容	
<p>コロナウイルスの影響は大きく、私たちの生活に多大な影響を及ぼしております。こんな時は、本当に困った時に頼れる場所や情報を、出来るだけ早く市民の方々の手元まで届けていくことが、今まで以上に必要です。</p> <p>そして、コロナ以前から、日本はすでに縮減社会、超高齢化社会に入っていて、2025年問題といわれる、5人に1人が75歳以上になる時代が訪れます。そのような社会の中では、私たちは介護が今のように受けられないばかりか、病院で亡くなりたくても亡くすることができない社会がやっけてまいります。</p> <p>病院で治す医療から、地域で支える医療へ、大きな転換が必要です。そのときに大きな役割を果たしていくはずの、地域包括ケアシステム。これを中心に質問をいたします。</p>	
1 コロナ渦による、生活に困った方々の貸付制度の周知、広報の仕方、課題について	
2 地域包括支援センターについて	
(1) 地域包括支援センターの現状と、相談件数の推移と、一般財源である三島市からの持ち出し分の推移について	
(2) これからの地域包括支援センターの利用者増への対応について	
3 三島市における在宅医療の取り組みについて	
(1) 三島市医療介護連携センターの現状と活動内容について	
(2) 訪問診療利用者数と医療介護連携センターの利用者数の推移について	
(3) 市民の方々への広報について	
4 行政の縦割りを取り払った、絶対に断ったりしないような相談支援体制づくりに向けて	
(1) 包括的支援体制の要になるコーディネーターの設置について	
(2) 丸ごと相談員など、アウトリーチに力を入れていく必要性について	
(3) 地域包括支援センターと、全世代対応できる包括支援体制の融合について	
(4) 交通の要衝、三島駅南口東街区再開発事業で整備する施設内に、この機能を入れていく可能性について	
5 誰一人災害被害者を出さないために、今できること	
(1) 福祉と防災を共に考えていく体制づくりに向けて	
(2) インクルージョンマネージャーの設置に向けて	